

リニア中央新幹線の開通に伴うスーパー・メガリージョン形成と 愛知/名古屋地区への影響について



岡谷鋼機株式会社
取締役社長 岡谷篤一

1. 会社概要
2. リニア中央新幹線開通に伴うメガリージョン形成と
愛知/名古屋地区への影響について
 - ①愛知県（名古屋）の住空間
 - ②名古屋駅周辺の大規模整備
 - ③アクセス向上に伴う旅行者増加（含 外国人）
 - ④歴史・文化的魅力度アップ
 - ⑤ものづくり集積地としての期待
3. 当社の新規事業創成
4. 当社とSMR

1.会社概要

社名	岡谷鋼機株式会社
創業年	1669年（創業349年目）
上場市場	名古屋証券取引所 市場第1部
所在地	名古屋市中区栄2丁目4番18号
代表者	取締役社長 岡谷 篤一
事業内容	商社（鉄鋼・産業資材・情報電機・生活産業等の産業材取扱い）
事業規模	連結売上高 7,533億円（'17年2月期） 連結純利益 116億円（ ” ” ）
連結子会社	70社（国内33社、海外37社）
経営理念	ものづくりに貢献する感性豊かな “グローバル最適調達パートナー”

2.リニア開通に伴うSMR形成

①愛知県（名古屋）の住空間

①-1 競争力

	愛知県（名古屋）	東京都	大阪府
人口	753万人	1,353万人	886万人
平均月収	31.4万円	37.3万円	32.6万円
通勤時間	<u>28.0分</u>	<u>43.8分</u>	36.1分
住宅地価格	<u>17.2万円</u>	<u>54.9万円</u>	23.6万円
マンション賃料	<u>6万1千円</u>	<u>11万8千円</u>	6万4千円

2.リニア開通に伴うSMR形成

①-2 名古屋駅からの所要時間

	距離	最短時間
名古屋駅 - 近鉄・四日市（西）	37km	28分
名古屋駅 - JR東海道線・岐阜（北）	30km	18分
名古屋駅 - JR中央線・高蔵寺（東）	24km	27分
名古屋駅 - JR東海道線・岡崎（東）	40km	29分
名古屋駅 - 名鉄・中部空港（南）	39km	28分
名古屋駅 - 名鉄・常滑（南）	35km	30分
東京駅 - 田園調布（2回乗換）	16km	32分

2.リニア開通に伴うSMR形成

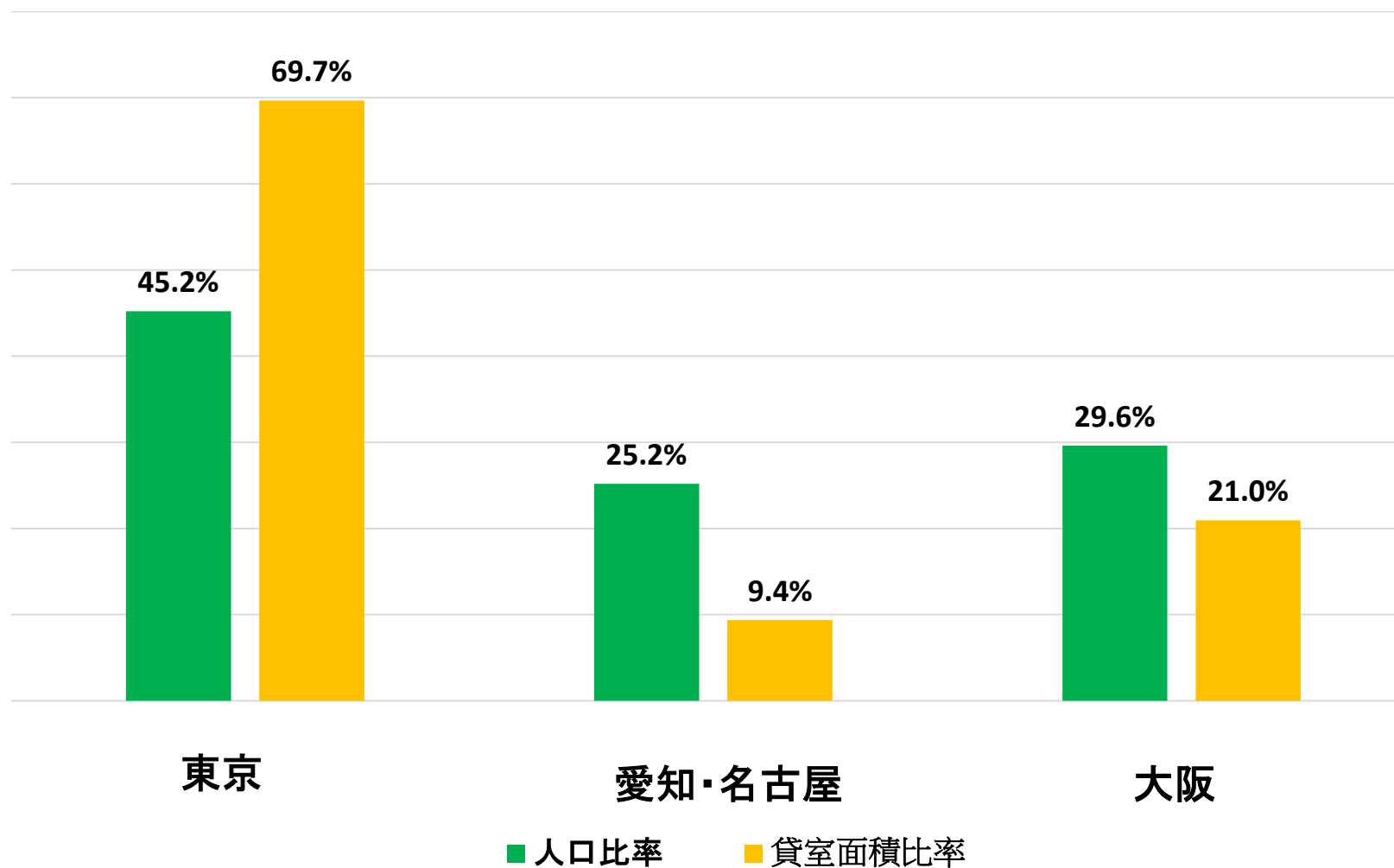
①-3 住空間の課題

- ・ 鉄道網の高速化、高架化
- ・ 高速道路網のミッシングリング解消

→ 東京から移住する

2.リニア開通に伴うSMR形成

①-3 住空間の課題



2.リニア開通に伴うSMR形成

② 名古屋駅周辺の大規模整備

②-1 歴史

1612～1616年 名古屋城築城に伴う清州越し

1886年 官鉄名古屋駅開業

1937年 国鉄名古屋駅舎竣工

1941年 名鉄 新名古屋駅開業

1954年 名鉄百貨店開業

1957年 地下街サンロード、地下鉄東山線開業

1999年 J Rセントラルタワーズ竣工

2017年 グローバルゲート/ささしま21地区開業

2.リニア開通に伴うSMR形成

②-2 名鉄グループの駅前大規模開発及び広域道路ネットワークへのアクセス改善

- ・ 2027年リニア開通に合わせ、名古屋駅南地区開発が注目されている。事業主体は名古屋鉄道その他、近鉄グループHD、日本生命、三井不動産。
- ・ 乗換のしやすい空間形成や駅前公園の整備等を期待。
- ・ 名古屋周辺は高速道路との接続が悪い。高速道路網とのアクセス改善も望まれている。

2.リニア開通に伴うSMR形成

③ アクセス向上に伴う旅行者増加（含 外国人）

③-1 旅行者

- ・ リニア試乗目的観光客の増加
- ・ リニア開通により羽田や関西空港利用者の当地アクセスが便利になる。中部空港利用者等も増加する。

・ 空港別外国人入国者数（2016年）

1位	成田空港	682万人	2位	関西空港	608万人
3位	羽田空港	326万人	4位	福岡空港	163万人
5位	那覇空港	135万人	6位	中部空港	122万人

2.リニア開通に伴うSMR形成

③-2 将来の課題

本年以降の当地区将来行事

2018年 御園座 竣工

名古屋城本丸御殿 完成

2019年 ラグビーワールドカップ 開催

中部国際空港島 国際展示場 開業

G20サミット 開催？

2020年 ワールドロボットサミット 開催

2026年 夏季アジア大会 開催

2027年 リニア中央新幹線 開業

2.リニア開通に伴うSMR形成

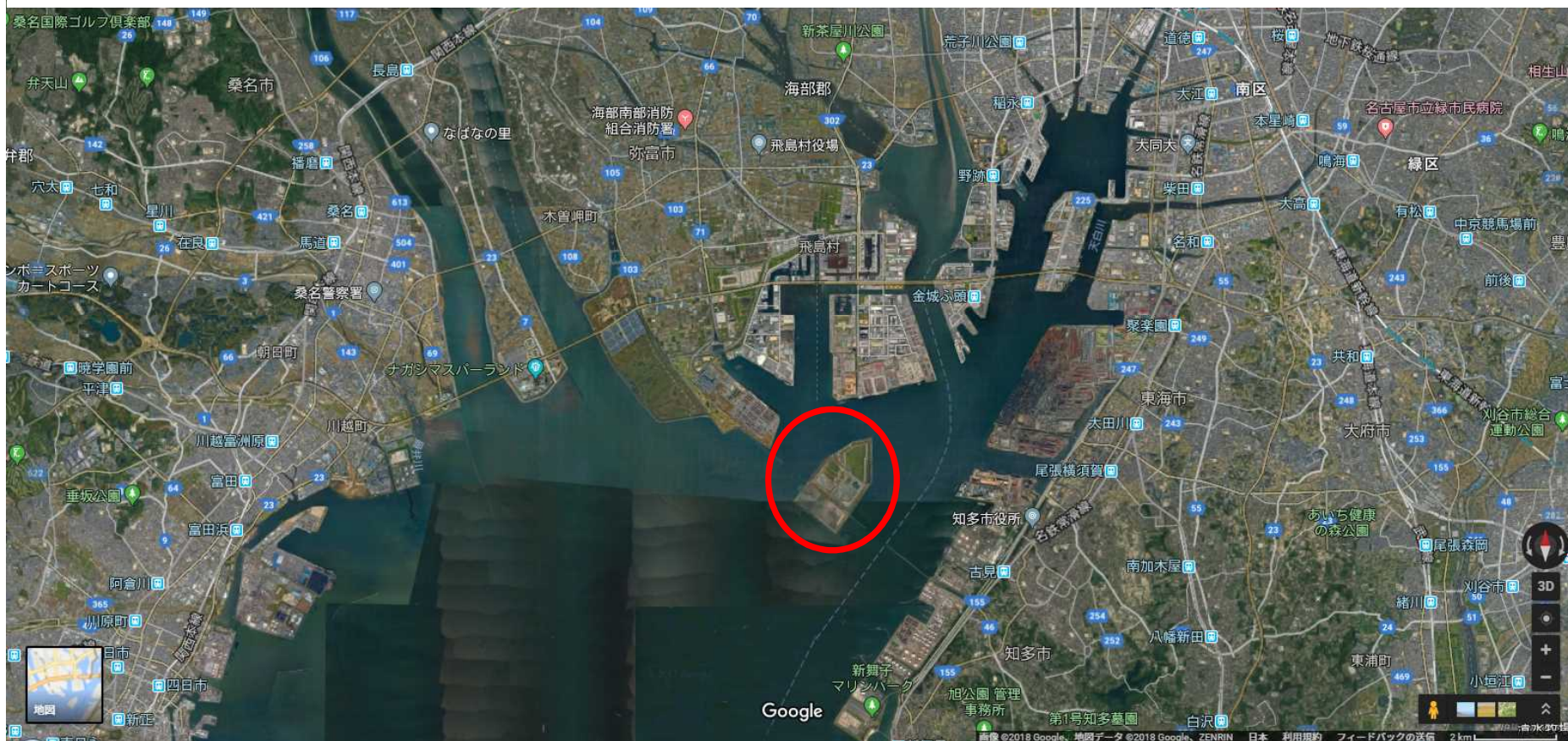
③-2 将来の課題

- 中部国際空港の2本目滑走路建設
- 中部国際空港島での大型客船埠頭建設
- 中部国際空港の航空路線拡大
- 道路網の充実（ミッシングリング）
- ポートアイランド（257ha）の活用

2.リニア開通に伴うSMR形成

③-2 将来の課題 (ポートアイランド)

Google Mapより



2.リニア開通に伴うSMR形成

④歴史・文化的魅力度アップ

④-1 現状

- ・ 名古屋駅前にはビジネス集積の場所。
他地区は城下町や水辺、緑あふれる公園など
歴史や文化そして自然との触れ合いを楽しめる地区。
- ・ 当地の歴史・文化的魅力を更に向上させ、多様な生活スタイルが楽しめる文化・空間づくりをすすめる。
- ・ 名古屋駅から市内各地への移動の利便性を高めるために、
交通手段の整備も必要。

2.リニア開通に伴うSMR形成

④-3 将来の課題

- ・ LRT/観光巡回バス/観光船の充実
(水素バス)
- ・ 美術館を統合 集積し大型化
- ・ 堀川、中川運河整備

(・劇場、コンサートホール等は充実)

2.リニア開通に伴うSMR形成

④-3 博物館類似施設数

	東京	愛知	大阪
合計	205	168	72
総合	21	10	9
科学	15	23	5
歴史	91	107	46
美術	51	17(35)	4
他	27	11	8

文部科学省調査資料より(2015年調査)
愛知県の美術館数()内は民間運営を含む

2.リニア開通に伴うSMR形成

⑤ものづくり集積地としての期待

⑤-1 現状

- ・ 愛知県の産業規模概要（2014年）

製造品出荷額 43兆8,313億円（全国シェア14.4%）

（主な内訳）

自動車など輸送用機械出荷額 23兆5,089億円（39.1%）

工作機械など生産用機械出荷額 1兆7,812億円（10.7%）

ロボット製造出荷額 1,076億円

その他、電気機械機器、ゴム製品、繊維工業品、家具・装備品、鉄鋼、窯業・土石製品、プラスチック製品の分野で全国第1位

2.リニア開通に伴うSMR形成

⑤-2 今後期待される分野への取組

- ・自動運転システム
- ・航空機産業
- ・IoT, AI等の開発推進
- ・ロボットなど労働力不足への対応
- ・医療、介護への対応 など

2.リニア開通に伴うSMR形成

⑤-3 将来の課題

- ・工業団地等の造成
- ・住宅地域の整備
- ・国際学校の充実
- ・ポートアイランドの活用（257ha）

2.リニア開通に伴うSMR形成

⑤-3 将来の課題 名古屋国際学園

1964年設立	生徒数	500名（2017年9月時点）
幼児部（3歳～5歳）		51名
小学部（6歳～5年生）		200名
中等部（6～8年生）		103名
高等部（9～12年生）		146名

名古屋市内にある国際学校で世界35か国以上から生徒が集まっています。

2.リニア開通に伴うSMR形成

まとめ

リニア中央新幹線開通に伴う名古屋駅周辺開発や他地区活性化については、既にある程度のグランドデザインが描かれ実行されつつある。

SMRが形成され、リニア開通により国内外からの人の往来が加速する。

当地の特徴である「ものづくり」の集積地としての魅力を更に高めるには、労働力不足を考えながらインフラの充実に努め、「住空間」そして「知」の拠点としての魅力も高める必要もある。

3. 当社の新事業創成

<自動運転（ワンマイルモビリティ）>



<トラック隊列走行実現への取組>



ラストワンマイルモビリティやトラック隊列運転走行など自動運転システムへの取組を進めます

<オランダ式水耕栽培>



<自律走行かき集めロボット「TOギャザー」>



労働力不足対策の一環として、オランダ式農業や自律走行かき集めロボットの開発をすすめています

3. 当社の新事業創成

<航空産業への取り組み>

2016年11月

JISQ9100認証取得（航空・宇宙および防衛分野の品質マネジメントシステム）



今後の成長が期待される航空宇宙分野での
販売拡大に注力します。

3. 当社の新事業創成

- 名古屋大学オープンイノベーション拠点への支援
(名古屋駅 JRゲートタワービル内)



- シリコンバレー事務所開設により先端技術や
社会問題解決型ビジネスに関する
現地ベンチャー企業との連携



4. 当社とSMR

1. 当社への影響

現状の事務所

東京本社 620 坪 (借家)

名古屋本社 790 坪 (自社)

(働き方改革 – サテライトオフィス化可能)

→ 東京一極集中への是正に協力する

(100人の事務所は名古屋移転による物件費削減で20人が補える)

4. 当社とSMR

1. 当社への影響

(例) 勤務地を東京から名古屋に移転 (東京/名古屋とも200名強)

事務所家賃 (1人3坪利用) 年間 36万円台

借家をすれば (住居費) 年間 60万円台

通勤費は同じ

つまり、1人移れば 年間96万円の原資ができる。

10人移れば 年収1,000万円の人を1人雇用できる 11人体制

年収500万円の人を2人雇用できる 12人体制

100人移れば 年収1,000万円の人を10人雇用できる 110人体制

年収500万円の人を20人雇用できる 120人体制

4. 当社とSMR

2. 当社への営業上の影響

- ・ プラス面が大きい

国内外のアクセス良化と人の往来増加 – 協業

- ・ マイナス

競争激化？ 人手と土地不足？



ものづくりに貢献する感性豊かな
“グローバル最適調達パートナー”

岡谷鋼機株式会社